

第6次小牧市総合計画策定のための  
**団体アンケート調査結果**  
- 報告書 -

平成19年8月

小牧市

# 目次

1 調査の概要.....	1
2 調査結果.....	2
(1) 団体の概要について.....	2
活動年数【Q1】.....	2
構成人数【Q2】.....	2
主な活動内容【Q3】.....	3
活動頻度【Q4】.....	4
活動地区【Q5】.....	4
(2) 活動についての課題.....	5
市民活動団体等が現在抱えている課題【Q6】.....	5
(3) 協働のまちづくりについて.....	6
市民活動団体等の意見の反映状況【Q7】.....	6
協働のまちづくりにおける市との関わりの状況【Q8】.....	7
今後の協働のまちづくりへの関わり方【Q9】.....	9
協働のまちづくりを進めるために市に期待すること【Q10】.....	12
(4) 小牧市の強み・弱みについて.....	14
小牧市の強み【Q11】.....	14
小牧市の弱み【Q12】.....	17
(5) 将来のまちのイメージについて.....	21
将来の小牧市のまちのイメージ【Q13】.....	21
(6) 自由意見.....	22
3 参考資料.....	27
調査票.....	27

# 1 調査の概要

## 調査の目的

さまざまな分野で活動している各種団体へのアンケートを実施することによって、まちづくりに対する意向や要望、行政との連携・協働の方向性などを把握し、第6次総合計画を策定する上での基礎資料とすることを目的とします。

## 調査対象

小牧市民活動センター登録団体、こまき市民活動ネットワーク活動団体、ボランティアセンター登録団体（重複を除く） 178 団体

## 調査方法

郵送による配布、回収

## 調査期間

平成 19 年 6 月 22 日に発送し、平成 19 年 7 月 15 日を投函締め切りとして回収

## 回収状況

- ・ 配布数 178 票
- ・ 有効回収数 90 票
- ・ 有効回答率 50.6%

## 調査項目

- ・ 団体の概要について
- ・ 活動についての課題
- ・ 協働のまちづくりについて
- ・ 小牧市の強み・弱みについて
- ・ 将来のまちのイメージについて
- ・ 自由意見
- ・ 意見交換会への参加意向

## 留意点

- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- ・ 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- ・ 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。
- ・ 1人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示しています。この場合、その比率の合計は 100.0%を上回ることがあります。

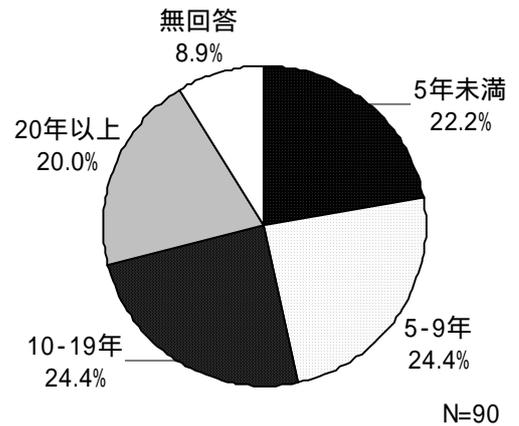
## 2 調査結果

### (1) 団体の概要について

#### 活動年数【Q1】

団体の活動年数は、「5年未満」22.2%、「5～9年」24.4%、「10～19年」24.4%、「20年以上」20.0%とさまざまです。

図 活動年数



#### 構成人数【Q2】

団体の構成員（会員数）は、「10～20人未満」が24.4%で最も多くなっています。

構成員のうち女性の占める割合は「75%以上」が44.4%と多くなっています。

構成員のうち60歳以上の占める割合は「75%以上」が25.6%、「50～75%未満」が17.8%で、これを合わせると会員の半数が60歳以上の団体は約43%となっています。

図 構成人数

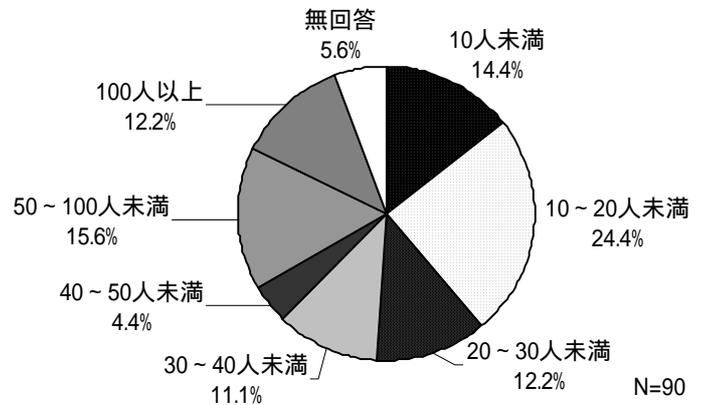


図 構成員のうち女性の占める割合

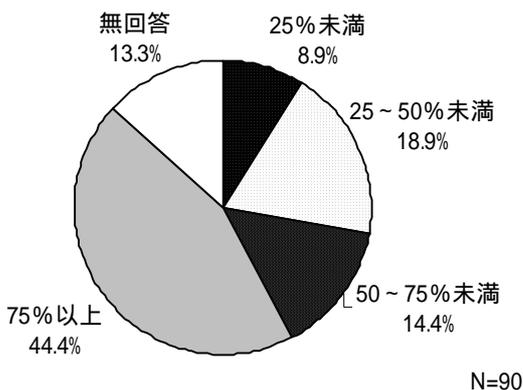
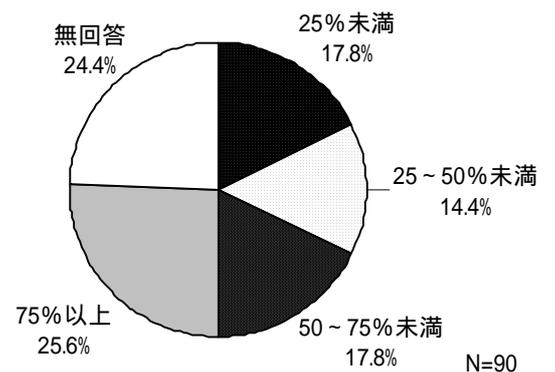


図 構成員のうち60歳以上の占める割合

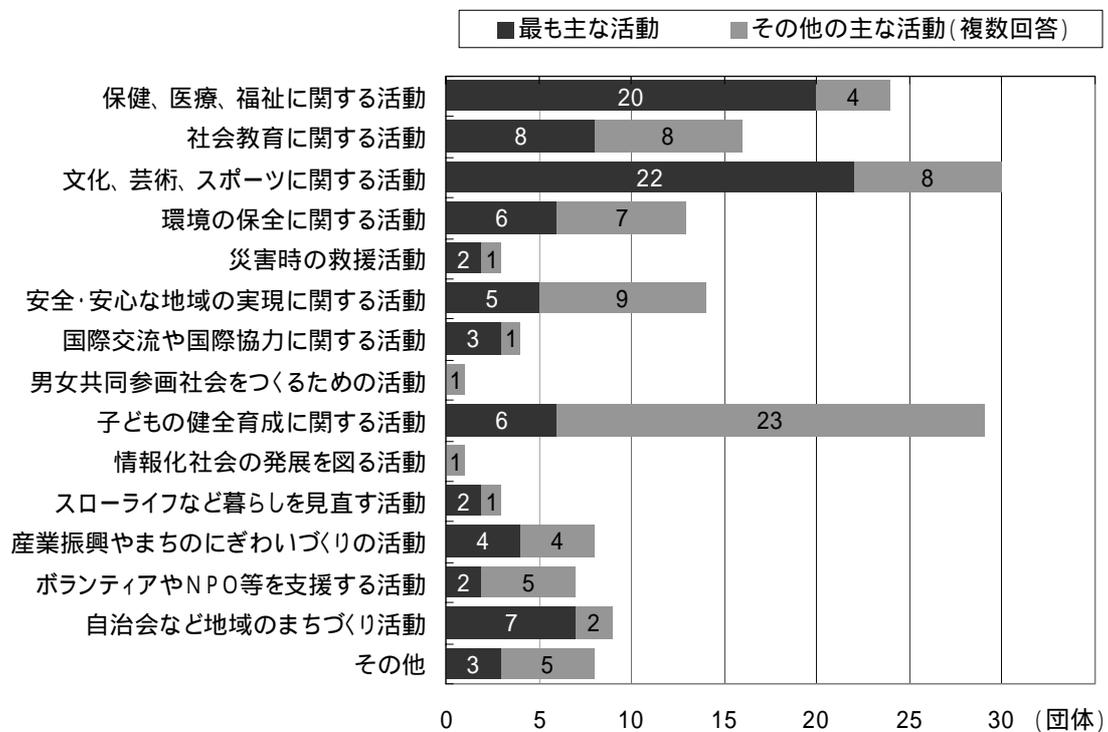


### 主な活動内容【Q3】

団体の最も主な活動としては、「文化、芸術、スポーツに関する活動」が22団体、「保健、医療、福祉に関する活動」が20団体で多くなっています。

団体の主な活動（最も主な活動＋その他の主な活動）としては、「文化、芸術、スポーツに関する活動」と「子どもの健全育成に関する活動」が最も多く、「保健、医療、福祉に関する活動」、「社会教育に関する活動」、「安全・安心な地域の実現に関する活動」の順で続いています。

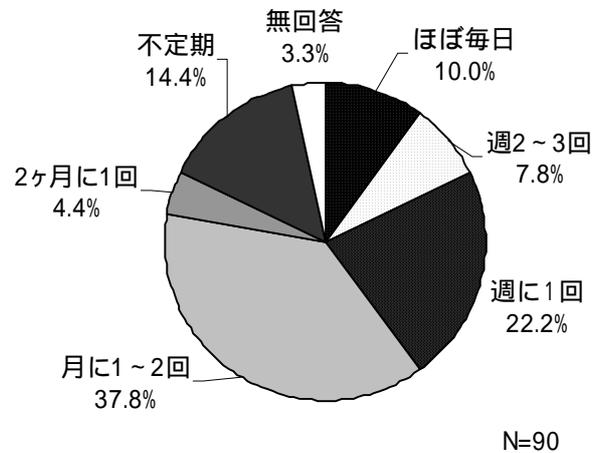
図 主な活動内容



### 活動頻度【Q4】

団体の活動頻度は、「月に1～2回」が37.8%で最も多くなっています。

図 活動頻度



### 活動地区【Q5】

団体の活動地区は、「市内の特定地区」が35.6%を占め、「市内全域」が38.9%、「市内及び市外」が23.3%となっています。

「市内の特定地区」と答えた団体に、どの小学校区で活動しているかたずねたところ、「小牧」、「本庄」が多くなっています。

図 活動地区

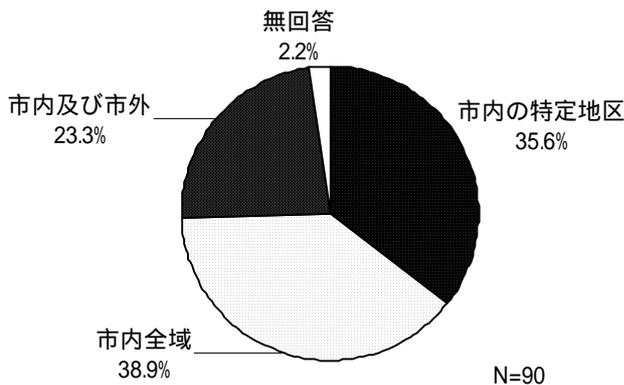


図 活動地区

(「市内の特定地区」の小学校区)

活動地区	団体数	割合
小牧	10	31.3%
村中	2	6.3%
小牧南	3	9.4%
三ツ淵	1	3.1%
味岡	5	15.6%
篠岡	5	15.6%
北里	4	12.5%
米野	5	15.6%
一色	2	6.3%
小木	2	6.3%
小牧原	2	6.3%
本庄	7	21.9%
桃ヶ丘	3	9.4%
陶	2	6.3%
光ヶ丘	3	9.4%
大城	4	12.5%

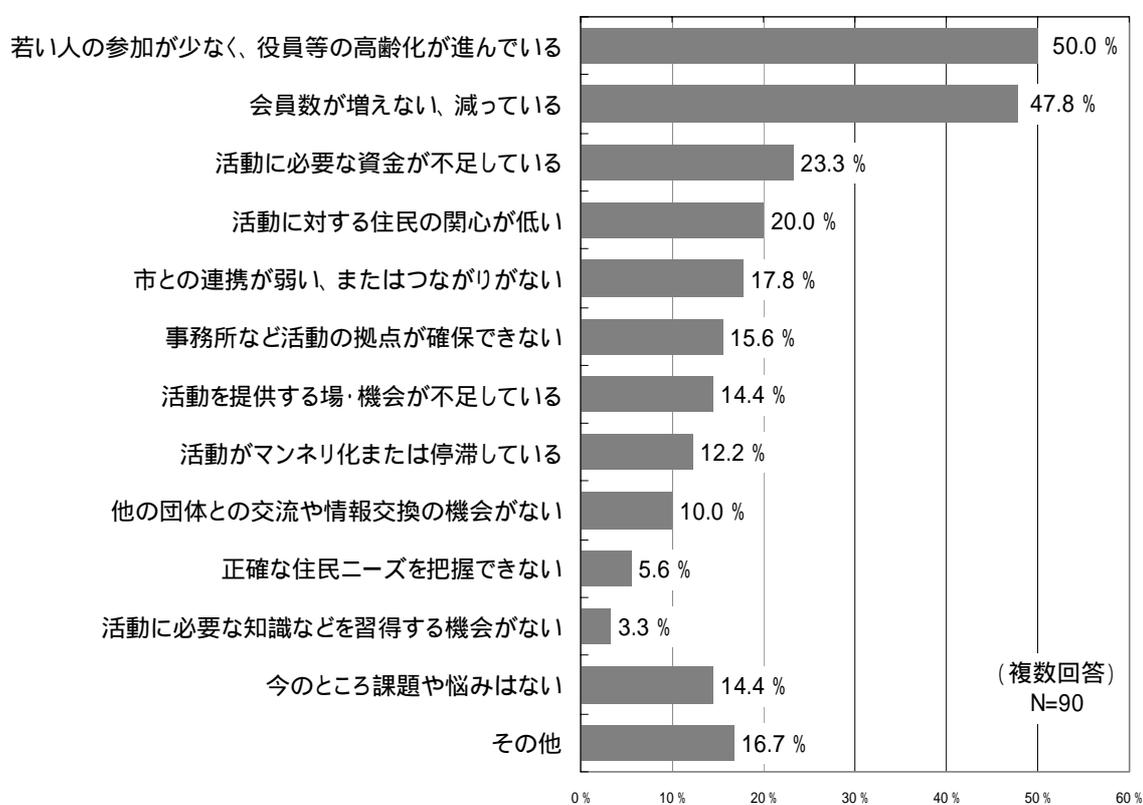
N=32 (複数回答)

## (2) 活動についての課題

### 市民活動団体等が現在抱えている課題【Q6】

現在、市民活動団体等が抱えている課題は何かたずねたところ、「若い人の参加が少なく、役員等の高齢化が進んでいる」が50.0%、「会員数が増えない、減っている」が47.8%でこの2つの課題が特に多くなっています。

図 市民活動団体等が現在抱えている課題



### (3) 協働のまちづくりについて

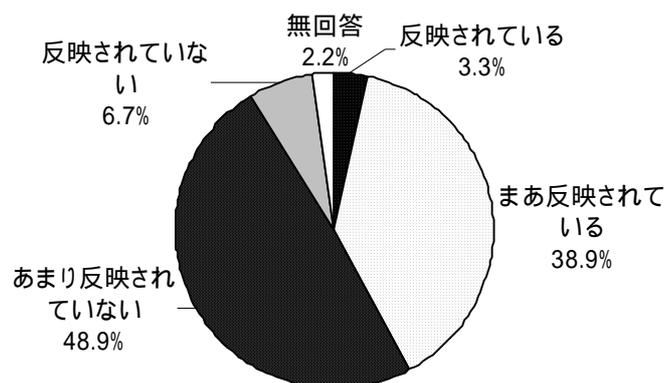
#### 市民活動団体等の意見の反映状況【Q7】

全体的にみて、市民や各種団体の意見が小牧市のまちづくりに反映されていると思うかたずねたところ、「反映されている」が3.3%、「まあ反映されている」が38.9%であり、あわせて42.2%が反映されていると回答しています。

一方、「あまり反映されていない」が48.9%、「反映されていない」が6.7%であり、あわせて55.6%が反映されていないと回答しています。

活動内容別にみると、災害時の救援活動、スローライフなど暮らしを見直す活動、子どもの健全育成に関する活動、社会教育に関する活動、環境の保全に関する活動では、反映されていると答えた割合が50%を超えています。

図 市民活動団体等の意見の反映状況



N=90

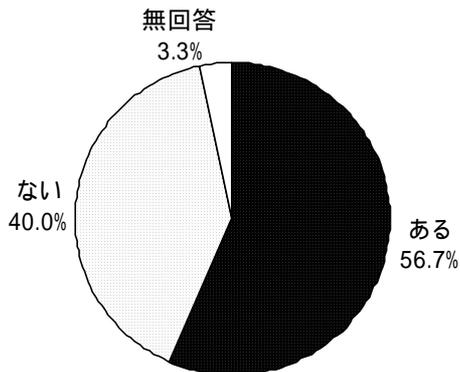
図 活動内容別 - 市民活動団体等の意見の反映状況

	N 値	反映されている	まあ反映されている	あまり反映されていない	反映されていない	無回答
保健、医療、福祉に関する活動	20	0.0%	25.0%	65.0%	5.0%	5.0%
社会教育に関する活動	8	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%
文化、芸術、スポーツに関する活動	22	0.0%	40.9%	40.9%	18.2%	0.0%
環境の保全に関する活動	6	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
災害時の救援活動	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
安全・安心な地域の実現に関する活動	5	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
国際交流や国際協力に関する活動	3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
子どもの健全育成に関する活動	6	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%
スローライフなど暮らしを見直す活動	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
産業振興やまちのにぎわいづくりの活動	4	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%
ボランティアやNPO等を支援する活動	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
自治会など地域のまちづくり活動	7	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%
その他	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%

## 協働のまちづくりにおける市との関わりの状況【Q8】

市民や行政、団体等の協働によるまちづくりにおいて、すでに市との関わりがあるかたずねたところ、「ある」が56.7%、「ない」が40.0%となっています。

図 協働のまちづくりにおける市との関わりの有無



N=90

表 協働のまちづくりにおける市との関わりのある分野・内容 【 】内の数字は同じ意見数

<p><b>生活環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境市民会議を通じた事業活動</li> <li>小牧山ホテル観察会、図書館の展示場にて夏休中出展、小牧市民まつり、環境フェア等</li> <li>環境保全・小牧市アダプトプログラム登録</li> <li>毎朝の人為的なゴミ拾い（アダプトプログラム登録）</li> <li>クリーンアップ行事（ゴミ拾い）事業</li> <li>公園の草刈、清掃</li> <li>通学路と路側帯の草刈（民地）清掃</li> <li>ゴミ袋の支給、ごみの処理を市で実施してもらっている</li> <li>花植えの手伝い（ラピオ前、西町等）</li> <li>市防災訓練、愛知県・社協との防災訓練への参加</li> <li>平成19年1月に、災害時のボランティア支援本部設置の訓練を小牧社会福祉センターで市・社協・地域と一体となって実施</li> <li>毎日朝晩の防犯パトロール</li> <li>学童の登下校の安全補導支援</li> <li>通学路のパトロール実施</li> <li>遊具のペンキ塗りや落書き消し</li> </ul> <p><b>保健・福祉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「尾張北部地域こころの健康フェスティバル」に断酒会として参加</li> <li>保健センターの保健師、看護師と共に行っている</li> <li>精神障害者福祉についての施設建設や運営</li> <li>市や社協主催の行事において聴覚障害者の情報保障をしている</li> <li>福祉展や障害児者施設の夏まつりへの参加</li> </ul>
---

介護保険で出来ない事や子育て支援の手伝い

敬老キャンペーン活動

福祉展、健康まつり、市民まつりに参加(売上金全額ポップコーン作り、善意銀行に寄付)

市内、小中学校の福祉実践教室からの依頼と福祉展などへの参加協力をしている

小牧社会福祉協議会

社協にボランティア登録

#### 教育・文化

市民まつり【3】

小、中学校での折紙交流

年4回実施するフィールドワーク、歴史出前講座(生涯学習課)

第3回小牧山歴史四方山話十二講の場所確保(文化振興課)

教育委員会後援による活動

心の生涯学習、セミナー開催

市立図書館(情報交換)

図書館を拠点に読み聞かせ

小牧市パソコン講習会(6年間で市民1万人の方にパソコン普及の成果を上げた)

3あい事業の要請に応じて演奏活動等

3あい事業(ふれあい、学びあい、支えあいの地区づくり)

市の施設(市民病院)での作品展示

小牧市民まつりでの展示会

市主催のイベントへの参加

市や関連団体主催のイベントへの参加

文化協会を通じた協力

イベントなどの参加、フリーマーケット

市のイベントにおいていわゆる“にぎわい”的存在として声をかけていただいている

小牧市市民活動団体に所属し、行事・イベントへの参加協力

生活展のイベントに協力している

薪能開催時の会場及び駐車場の整備、小牧山桜まつり後のゴミ拾い

国際交流協会による英会話教室の維持(協会の行事に積極的に参加したい)

総務課都市交流係及びK I Aと協力して、ワイアンドット市との交流を継続的に実施

#### 都市・産業

小牧駅前にぎわい広場でのにぎわい創出事業・活動

産業フェスタ

#### その他

小牧市市民活動助成金対象事業として今年から展開し始めた

市民活動助成金を受けている

市民活動ネットワーク

多種多様な回覧物の配布

## 今後の協働のまちづくりへの関わり方【Q9】

今後の協働によるまちづくりへの関わり方について、どのように考えているかたずねたところ、「積極的に協働によるまちづくりに取り組みたい」が 22.2%、「要請があるならば取り組みたい」が 36.7%、「興味がある内容ならば取り組みたい」が 18.9%であり、あわせて 77.8%が協働のまちづくりに対して“取り組みたい”と回答しています。

協働により取り組みたいと考えている内容としては、地域のまちづくりに関するものや、子どもや高齢者を対象とするものなどがあげられています。

図 今後の協働のまちづくりへの関わり方

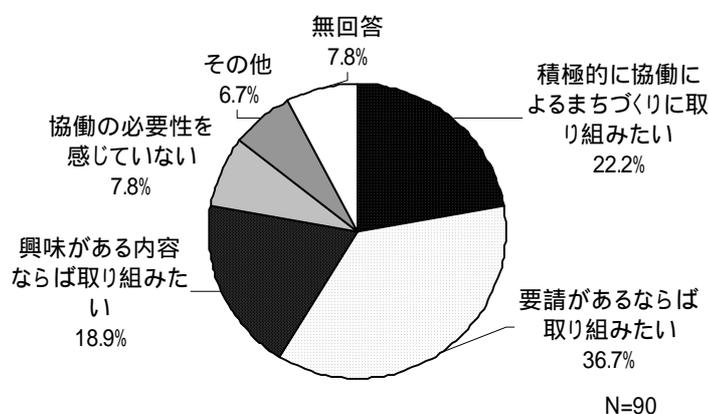


表 活動内容別 - 今後の協働のまちづくりへの関わり方

	N 値	積極的に協働によるまちづくりに取り組みたい	要請があるならば取り組みたい	興味がある内容ならば取り組みたい	協働の必要性を感じていない	その他	無回答
保健、医療、福祉に関する活動	20	15.0%	40.0%	20.0%	15.0%	5.0%	5.0%
社会教育に関する活動	8	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
文化、芸術、スポーツに関する活動	22	4.5%	54.5%	18.2%	4.5%	9.1%	9.1%
環境の保全に関する活動	6	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
災害時の救援活動	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
安全・安心な地域の実現に関する活動	5	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際交流や国際協力に関する活動	3	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもの健全育成に関する活動	6	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%
スローライフなど暮らしを見直す活動	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
産業振興やまちのにぎわいづくりの活動	4	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
ボランティアやNPO等を支援する活動	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
自治会など地域のまちづくり活動	7	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%

表 協働により取り組みたいと考えている分野・内容

<p>生活環境</p> <p>環境都市に相応しいまちづくり</p> <p>数多くの市民が私達の活動(ネイチャーゲーム)に参加して、このゲームを通じ、自然や環境の現状に気付いて理解し行動(省エネ行動など)してくれる人を育てていきたい(子供(4歳以上)からすべての大人が参加可能)</p> <p>陸のホタル「ヒメボタル」を増やしたい(小牧山)</p> <p>奉仕、美化等</p> <p>地域の清掃美化活動</p> <p>ゴミのポイ捨て撲滅運動</p> <p>ゴミをなくす、雑草の除去、水質浄化、親水空間創出、小牧市の推進する地区再生計画こまきクリーンアップグレードアップ</p> <p>巨大災害発生し、公共通信不通になった時の通信のお手伝いのボランティア活動</p> <p>災害時におけるボランティア支援本部の立ち上げ訓練</p> <p>交通安全運動</p> <p>防犯・防災に関わる事(市民が出来ることは市民に委託を考えてもらいたい)</p> <p>会員が少ない為に(他の団体との重なりで)一度に全員参加は難しいが、要請があれば喜んで一人でも協力する(市民まつりや児童公園の見守りは現在も取り組んでいる)</p> <p>地域みんなで安心して住み続けられるまちづくり</p> <p>安心安全快適な地域づくり、老後の福祉、健康増進に関する活動については関わりを持ちたい。具体的なアプローチ、マニュアル等について援助がほしい。政治・宗教に関する活動については厳禁している</p> <p>保健・福祉</p> <p>病院とタイアップしてお手伝いできないかと考えている</p> <p>アルコール依存症からの立ち直り、社会復帰への促進、酒害相談(本人又は家族からの)の実施</p> <p>寝たきりにならない為の体力作り</p> <p>高齢者の介護予防支援ボランティアを行っている関係で、心と体をリフレッシュ出来るようないろいろ楽しめる事を活動の中に取り入れたい</p> <p>ひとり暮らしの方々のふれあい・いきいきサロン等(小学校区単位でできるのが理想)</p> <p>福祉</p> <p>障害者等(高齢者含む)の福祉において、積極的に取り組みたい</p> <p>老人(体の不自由な方)や障害者(車椅子)が外出出来る町づくり</p> <p>仕事しながらのボランティアでは思うように時間が取れないが、障害者の働く場所等何とかならないかと思っている</p> <p>老人会、子供会、介護施設への訪問読み聞かせ</p> <p>私達の団体の活動において必要な事については取り組み、アピールしたいと考えている(例えば、子育てアドバイス、高齢者の生きがい、女性の生き方)</p> <p>おもちゃ修理の可能性があれば、イベント参加したい</p> <p>子育て中の家族が楽しめるような企画</p> <p>子連れでも取り組める内容</p>
---

## 教育・文化

小牧市の将来を担う次世代の心そだて（一貫性・継続性ある取り組み）

子ども達との交流ができ、小学生、中学生に家族以外の人達との交流の楽しみを知ってほしいと思っている

子供達と接点を見つけて、子供達にもっと広げられないか、若い人のグループが出来ないか  
南部コミュニケーションセンターの利用

芸術方面（ボタニカルアート）で貢献したい

生涯学習課関連のもの

歴史的に小牧山を今以上に学校等で取り上げ、将来の市民に誇りの持てる教育が必要（小中校でNHKの「ようこそ先輩」の番組をまねた、土曜日に課外授業として採用すべき）

高齢者が多いので無理は出来ないが、歴史関係など、関心のある内容で協力が可能ならば、その時点で考えたい

自然分野、幻の魚「天魚」生息調査等

ヒトの祖先、ナメクジウオの化石「コノドント」小牧市内

信長公ゆかりの「白王星草」の市民への取り組み

縄文人の神字（カムナ）遺跡調査

手作り、ワークショップ、フリーマーケットの開催

ワイアンドット友好行事、海外から小牧市を訪問された人達のサポートが出来れば会員にとって大きな励みになると思う。我々の英会話レベルは初級～中級程度だが、それでもよければ大いに参加したい

「まちづくり」の具体的なイメージが湧きにくい活動であるが、日本流の習得を通じての外国人との共生推進という大目的に沿うことであるなら、積極的に取り組みたい（但し、私たちの活動を行政がどのように評価しているかといった疑問がクリアされなければならない）

## 都市・産業

旧商店街の活性化

地域活性のお手伝い

中小企業への経営改革支援

IT活用の分野

## その他

まちづくりに関する情報公開（各種図書、論文、資料、HP等）、情報通信サービスの提供  
市職員への経営センスの注入

健全な町づくりに対しての協力をしていきたい

私共は高齢者に属するが、可能な限り時間を割り振りたいと考えている

## 協働のまちづくりを進めるために市に期待すること【Q10】

今後、市民団体と市が協働によるまちづくりを進めるために、市に期待することは何かたずねたところ、「市民と市との間での情報の共有化」が44.4%で最も多く、ついで「地域活動や市民団体活動に対する支援」が41.1%で多くなっています。

平成18年度に実施した市民意向調査と比較してみると、「市職員の意識改革やコーディネート力の向上」や「市民と市が協働するためのルールをつくり、協働のまちづくり事業を実施する」の回答割合は低く、「地域活動や市民団体活動に対する支援」の割合が高くなっています。

協働の取組意向別にみると、「積極的に協働によるまちづくりに取り組みたい」としている団体では「政策立案に市民団体等が関与できる機会を増やす」が35.0%で情報の共有化について多くなっています。

図 協働のまちづくりを進めるために市に期待すること

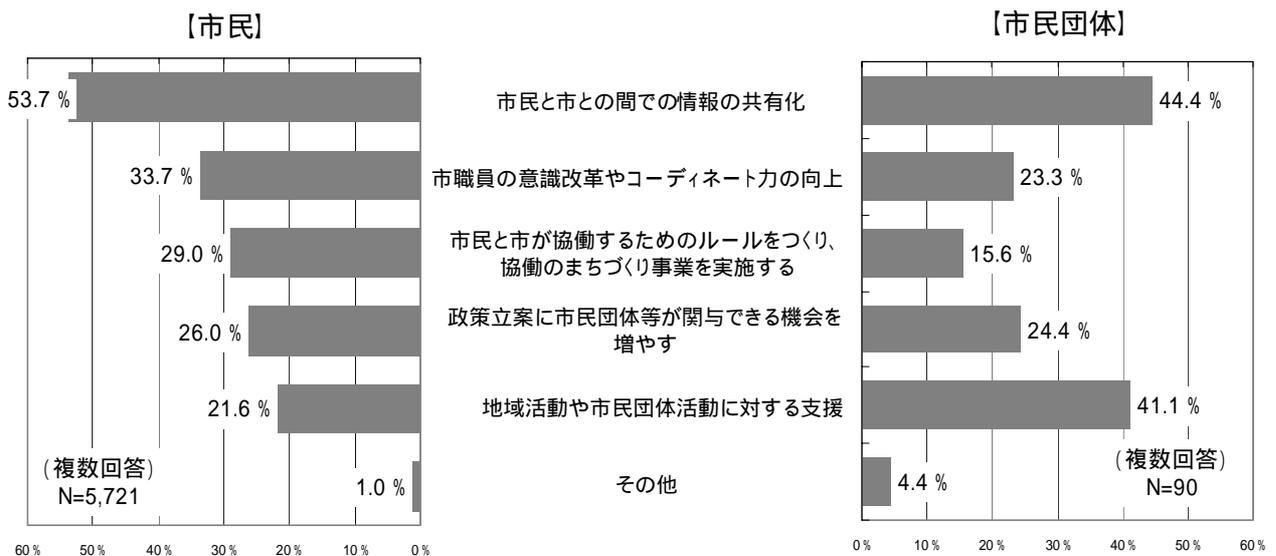


図 協働の取組意向別-協働のまちづくりを進めるために市に期待すること

	積極的に協働によるまちづくりに取り組みたい (N = 20)	要請があるならば取り組みたい (N = 33)	興味がある内容ならば取り組みたい (N = 17)
全体			
市民と市との間での情報の共有化	50.0%	51.5%	47.1%
市職員の意識改革やコーディネート力の向上	30.0%	18.2%	23.5%
市民と市が協働するためのルールをつくり、協働のまちづくり事業を実施する	15.0%	21.2%	11.8%
政策立案に市民団体等が関与できる機会を増やす	35.0%	21.2%	23.5%
地域活動や市民団体活動に対する支援	25.0%	51.5%	52.9%
その他	0.0%	3.0%	5.9%

表 協働によるまちづくりを進めるための具体的な意見・提案

PR支援

企画を市民へ知っていただくために、公共の場、公共の情報誌などに手軽に掲載すること  
広報以外に情報が少なすぎる

市の問題点、課題などについて市民に情報を提供し、市民の生の声を聞き反映していく（但し、学識経験者等は除く（特に教授））

ボランティアの利用

60歳以上の定年退職者の利用

団塊世代の巧みな取り込み

地域での人材や老人力をうまく活用出来ないだろうか

どの団体にも同じメンバーが出席しているので、人材発掘を心がけていただきたい

高齢者の80%が健常者といわれるが、高齢者を「その気にさせる」ための徹底した啓発活動を展開してほしい（その気はあっても、その一歩が踏み出せない人は多い）

お互い相手を知り合い、それらをコーディネートする力のある人が増えると良いと思う

各団体を公平に扱ってほしい

協働によるまちづくり、市民と市とが平等に協働できる体制づくり

「試みのないところに成功のためしない」と言われるが、前倒主義を排し、新しいことに積極的にチャレンジする職員が増えるよう裁量権を与えてほしい

会合議論に多くの時間がさかれ実行が遅い。実行した後に修正する議論会合をすべき。多くの提案や実行すべき事案を持っていても会合議論が多く失意に追込まれる。もっと時間の割振りを考えるべき。提案は取り入れるべきだし、実施すべき悪いものは自然に消滅する

市の窓口の教育、職員がNPOなど市民活動に対する認識がない

芸術的活動をしているが、2、3年で職員の移動があり理解を得られるのに時間がかかる

本来なら行政が取組むべき（あるいはそのようになった）活動を私達に限らず、諸団体が代行しているのではないのでしょうか。それを「ボランティアは好きでやっている」というような行政からの声も聞かれます。何をやっているのかを現場で直接確認いただいた上で、しかるべく支援願いたい

障害者・児に対する理解、認識を改めてほしい

市の新規採用職員の研修の中に1人で車椅子に乗ることがあるが、ベアでなく1人で出かける。アイマスクもやってみるべき。老人施設、福祉施設へも。市役所だけでなく、食事をアイマスク着用するなど、少し「わかる」努力をすべき。大変だろうではなく、自身が体験してはじめて少し分かる程度であることを頭において、ぜひいろいろな体験をして（決してお客様でなく）頂きたい

まず、行政サイド（職員）が現況を知る事。そのためには市民、市民団体、NPOの活動に参加し、現況を直ちに体験する事

区（125区）の区役員会議に出席し、現場ニーズの把握

地域のボランティア団体と市とが密に意見交換できる機会（ルール）を作って、地域のボランティア活動提案を協働で具体的に検討し合えるようにしたい。市職員も現場を見、その状況を共有するという意気込みが大切だと思います。それが地域力を育てるやる気（ボランティア精神）を引き出す近道だと思います。それは市職員の意識改革やコーディネート力の向上に繋がるはず

学校帰りや児童公園で現在もパトロールの方を見かけるが、どのような方がどの位（人数等）地区により片寄りは等、知りたい事は多い

「安全安心なまちづくり」の阻害要因の実態調査、要因分析、対応施策の立案を市民活動団体に委託

800 円/時程度で軽作業をしてもらう（道路のごみ収集等）

味岡小学校の芝生の管理・除草を学校ではできないため（例：地域老人クラブ、地域団体）多少の助成・補助をして管理してはどうか

公共施設の低利用料金（補助）

現在小牧市在住の外国人は約 9,000 人ともいわれています。市の行政あるいは市民の対応によっては素晴らしいものにもなり、又大きな問題をかかえる事にもなります。市としてより良い協力関係をつくっていくため、国際交流協会、及びワイアードット友好会員の中で参加できる人達を結集し、市とのパイプ役となり地域に住む外国人の問題点要望点等を気軽に相談出来る体制を作り、各地域での外国人の代表者をつくり、常にコンタクト出来る様な体制を作ることが出来れば、外国人による犯罪も少なくなり、外国人の小牧市での活動活躍が期待出来ると思います。各会員には外国人に良くわかるような帽子（普段かぶれるもの）とバッチを付けるようにし、会員に連絡できるように連絡網を作っていくようにする。〔毎日外国就労者に会います。笑顔を送るとどんなに恐ろしい顔をした人も必ず笑顔がかえってきます〕

“国際化”の側面でのまちづくりに対し、相手国の行政担当に対する“働きかけを強化”してほしい

後援から共催そして主催者側になってほしい

郷土の作家を育成し、発表研修の出来る公共の場をつくる

郷土文化育成施設等（大人子供も小牧の伝統として何があるか知らない人が多いので、郷土文化の浸透）

小牧の郷土料理を浸透させていける場も必要

街の中に美術等展示するギャラリーを考え、市民を街に引きつけるようにする

## (4) 小牧市の強み・弱みについて

### 小牧市の強み【Q11】

市民活動団体等の皆さまの視点からみて、小牧市の強み（良い点、活かすべき点）は何だと思ふかたずねたところ、「財力があること」「自然が残っていること」「ボランティア意識が高いこと」などが多くあげられています。

表 小牧市の強み

【 】内の数字は同じ意見数

#### 地域自治

ボランティア意識が高く、ボランティアが多い【6】

#### 地域の連帯感

地域の元気な老人の方々（地域行事の時、核になり、若い人達を引っ張ってくれる）

各種ボランティア活動がとても盛んに行われている

活動に必要な消耗品や機材を公費でまかなっていただける

活動のための例会会場が無料で使用できる

6 地区に各公民館が出来、活動の場として今後期待できる

公民館の充実している地区もあるので、これをもっと活用したい

#### 生活環境

自然が残っている【 8 】

自然、土地、歴史、人材、信用、何れもゆとりが残っている

ゴミの分別等、市民意識が高い

子供や高齢者が安心して暮らせるまち

比較的安全で、安心して暮らせるところ

小牧市は全般的に地盤が強固である

#### 保健・福祉

福祉車両の貸出し

社協の助成協力

少子高齢化社会のまちづくり、介護の充実

#### 教育・文化

学校に空いた空間がある（空いた空間を自由に使用できる用に出来ないか）

スポーツが盛んなまち

スポーツ施設も整い、健康増進に期待

体育的な施設は充分整備されているが、文化的な諸団体の拠り所があていい

ブックスタートの開始

文化的な街と感じる

カルチャースクールの充実

各種技能、芸能などで活躍されている方々のグループが多い（もっと活用するとよい）

地域毎に文化施設が配置されている

比較的財政的に恵まれている（文化的な面の充実、市の周辺（中心に集めるのではなく）に文化の拠点を作る等、何か特徴的なものをつくるとよい）

小牧山がよく整備され、いこいの場となっている

小牧山周辺の散策コースが整備されていて、車椅子の散歩にありがたい（小牧山の中心に高齢者も使用出来る設備があるとよい）

小牧山の存在（和風休憩所、和風庭園などがあるとよい）

日本一広い真っ平な濃尾平野の一角に立つ唯一の独立峰小牧山

小牧山は有史以来歴史に関わっている（一層利用すべきで、メディアを利用すべき）

織田信長天下統一への出発点としての小牧山城・城下町の原形

大山廃寺や小牧長久手の戦い等の歴史的遺産がある

歴史遺産もっと大切にし、大いにPRすべき

歴史の転換点となる小牧・長久手の戦い、大山廃寺、新田開発など

固定観念にとらわれず、わりと柔軟な姿勢で取組んでいる。（イベント内容等）

各国の語学が学べる環境が小牧市にはある

#### 都市・産業

交通の利便性が高い【 2 】

交通の要衝である

名古屋中心地に近く交通の便が良い（名神、東名、中央道立地条件に恵まれている）

高速道路があり便利

東名・名神の高速道路、小牧空港がある

広域交通網が発達している（名空港の活用が必要）

県営名古屋空港が近い

小牧インター等があって、工場物流企業が多く立地している

大企業、中企業がたくさんあり、就業機会に恵まれている

大企業が多い

大手企業があり、財政が豊かであること

企業が多いため、経済的に豊かで他の市に比イベントが多い

生産の町で財政力がある

市に活力がある

産業振興＋観光振興＋農業振興のバランス

市には生産物（桃）がある（もっとテレビ等を利用すべき）

#### 計画推進

財政力がある【１９】

財政力を未来に生かす能力に期待

資金的に余裕がある

健全財政【２】

自分達の事はしっかりやっていること

市職員の見識の広さ・対応力

職員は親切である、説明も充分

市民まつりにしても、万博にしても担当の方が本当に頑張ってみえるのでまとまりが良い

市民活動センターや同条例がある

市民活動団体に対する助成金制度

市と市民活動ネットワークの連携がある

市民からのFAXへの対応が真剣、市民へ真剣に向き合っている

市民の声を聴く姿勢がある（なかなか実現されませんが...）

話をよく聞いてくれる

#### その他

スケールメリット（市域の広さ、人口規模、多様）

人口が増加している

小牧市はまだまだ若い成長期にあり、今が大事な時期である

青年層の活力

人材【２】

他市と比較する機会がないため、気付かないことも多い

何事も白紙の現況にあるので、今後の前進に期待可能

## 小牧市の弱み【Q12】

市民活動団体等の皆さまの視点からみて、小牧市の弱み（悪い点、改善が必要な点）は何だと思うかたずねたところ、「公共交通の利便性が悪い」「犯罪が多い」ことなどがあげられています。

表 小牧市の弱み

【 】内の数字は同じ意見数

### 地域自治

活動への取り組み意欲について、地域により差がある

区の自治組織の活動振興

駅前対策に注目が集中しているが、125区を公平に取り上げていない

旧住民が昭和30年以降移り住んだ人々をよそ者扱いにしていること

まだまだ市民の意識が低く、旧市町村の村意識が強い

活動する施設が郊外にあるので、足を運ぶのに大変

建物は立派なものが多いが、身近な所に使いやすい施設がない

活動の場所が少ない

公共施設の利用料金が低い

個人で立ち上げた活動グループに対して、施設利用の減免申請が出来ない

会場費（特に調理室）が高い（食育が大切なのでもっと地元の米、野菜など取り入れてほしい）

電子レンジが壊れかけているのになかなか新しいのに変えていただけない

営利目的でないにもかかわらず、活動PRや企画のチラシが公共施設で貼れない

同じような活動内容の団体が多すぎる

気軽に団体が集える場所がほしい（他団体との交流の場、団体が気軽に集える場をつくり、ボランティアで運営する）

団体が集った時、少し協調性に欠けるところを統一出来ない

分野の違いや時間の都合もあるでしょうが、他の団体を手伝わない

団体の横のつながりが少ない

市民感覚が受動態である

### 生活環境

犯罪が多い【3】

治安が悪い【2】

自然を大切にする視点

本気で環境改善に取り組んでいるとは見えてこない（公共施設になぜ自販機があるのか）

1歩脇へ入るとゴミが多い（環境都市の看板が泣く）

国道中央分離帯・空地・河川周辺のゴミの散乱

犬の糞が散乱している（マナーの悪さ）

街が暗い

#### 駐車場問題

スローガン（安全安心なまちづくり）はあるが、実行具体策が希薄  
昭和40年代以降、急速な宅地造成で造成地の地盤が弱い  
ミニ工場団地や倉庫などと住宅が混在しているところが多い

#### 保健・福祉

市民のための市民病院になっていない（救急患者、入院患者等対応）  
保健センターにコピーが無い  
少子高齢化により、保健センターの役割が今後重大になるので、力を入れてほしい  
桃花台の城山を中心とした子育て地域に幼稚園・保育園の不足  
豊かな財政力を活かし、今まで以上に少子化対策（保育園、学童保育）を充実してほしい  
福祉面が遅れている  
福祉に対しての助成金が少ない  
民生委員の活動に個人差があるので、生活保護だけではないことをPRしてほしい  
福祉分野で予防介護など動きが伝わってこない  
足腰が元気になる教室、いきいき教室などさまざまな活動が介護保険の実施により、だんだん内容が変わり、毎年違う事をしている状態のため、何とか一本化してきちんとした活動にしたい  
弱者への配慮がまだ不足している  
バリアフリーの遅れ  
障害者が利用できる室内競技施設が少ない

#### 教育・文化

小学生が総合学習で学ぶ環境学習施設はあるか  
学べる各種教室が不足している（もっと増やすべき）  
公的文化施設が少ない  
文化活動の拠点がほしい  
文化活動の拠点となる場所が必要  
文化活動への市民の関心が低い  
文化的な活動を心掛けてほしい  
文化面に一層の力を入れるべき  
文化的な活動をしているグループは多いが、展示発表する公共の場所が無いので、小牧駅前のような便利な所へ作ってほしい  
見栄えのする芸術文化に関心を持ちすぎではないか、在来の物も大切にしてほしい  
図書館での活動の場の充実  
織田信長の生かし方を工夫する  
自分のルーツを知るための歴史博物館をもっと充実させる  
外人が多い  
外国人との接触の場が料理や子供だけになっている  
外国人との共生、特に外国人子女の教育促進

## 都市・産業

公共交通の利便性が悪い【４】

個々に立派な建物、施設があるが、アクセスが思うようにない【２】

各施設へのアクセスの不明さ

交通網の整備（バスがもっと利用しやすいように）

脆弱な交通網

小牧市を東から西に結ぶ鉄道がない（ＪＲ中央線 - 小牧線 - 犬山線）

巡回バスや市主催行事については送迎バスを運行しているが、小回りがきかない（利便性について改善されるようにしてほしい）

交通の不備、桃花台からのボランティアのメンバーの足が不便で困っている（例：桃花台のメンバーが岩崎のデイサービスへ行くのに車がないと行けない）

桃花台新交通システムの廃止にみるように、マイカー依存の交通体系では諸活動は消極的にならざるを得ない

ピーチライナーの施設が放置されている

中央に市民会館があり、駐車場も広いが活用されていない（市民会館の前の原川にふたをして道路にする）

名鉄小牧駅前が貧弱

駅東広場の活用

駅前開発が遅れているように、行政の力（計画、実行力）が弱い、地権者の視野が狭い

小牧駅を中心とする街づくり

区画整理での中途半端な道路

多気地区の遊水池の計画進行遅れ（早期完成を望む）

情報のインフラの整備

大手企業誘致の衰退

工場等企業の人材確保のため、人の出入りの多いまち、外国籍の方も多く、まちに落ち着きがないように思われる

市民農園、休耕地を活かし、食の大切さを市民へ

## 計画推進

「市独自」という発想力

優れたビジョンが少ない

新企画への取り組み不足

先頭に立って行動することが少ない

前例主義に埋没し、革新プランが少ない

意識（前例より前進、主体性の不足）

毎年の行事がマンネリ化している

行政の動きが悪い（桃花台線廃止、駅前イトーヨーカドー撤退等を見ると問題が表面化してから動いている）

財政が豊かなせいか、職員の市民活動に対する認識が薄い

横断的なネットワーク「力」

タテ割り行政

タテ割意識が強く、手間ひまがかかること  
臨機応変な決断力  
目先の損得や市場原理で判断しているのではないか  
声の大きい方には市が向くが、こつこつ活動している所には気を使わない  
ボランティアの活動・必要性を理解出来ていない人への説明がない  
どの団体（大小問わず）も同じ様に自分達に出来る事をしているので見下さないでほしい  
情報共有の不足  
市と団体の連携があまりうまくいっていない  
上位職員との対話ができにくい、レイアウトが悪い  
市民まつり参加団体等の予算の減額  
お金の使い道を改善する必要がある（恒例化しているイベント等）  
お金の無駄遣いが多い（例えば市内の公園への花植えは春秋2回花が配布されているが、宿根草にすれば少しでも無駄がなくなる）  
本当に必要な施設か（各施設1日の利用者はどのくらいか）  
塩付け土地、施設などの箱物づくり等税金のムダ遣いが目立つ（例：副市長室）  
豊かな財政を効率的に活用していない  
近隣市町村との協調  
行政のピーアール不足  
中日新聞近郊版の「小牧発」が少なすぎる（市民啓発のためにも活用すべき）  
その他  
特徴（個性・象徴）がない（名物と言えるもの）  
小牧市は「これ」という特徴が見られない  
小牧市名が全国的ではない（市の特性がない、開拓の意欲に乏しい）  
町の中全体に活気が無いように思う  
財政豊かであるとの事だが、まちに活気がない  
優れた経験やノウハウの蓄積がない  
人的、物的、金的、こと的の資源の理解認識不足  
すべての基盤たる「人づくり」に対する懸命な取り組みに欠ける  
個人が尊重されない

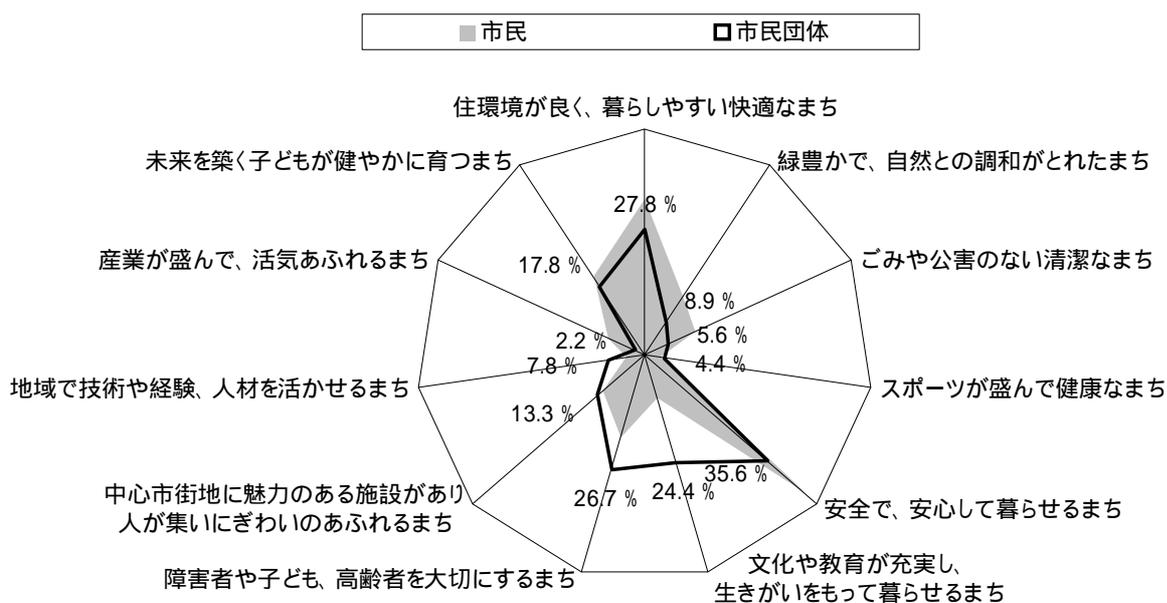
## (5) 将来のまちのイメージについて

### 将来の小牧市のまちのイメージ【Q13】

これからの小牧市はどのようなまちになると良いと思うかたずねたところ、「安全で、安心して暮らせるまち」が35.6%で最も高く、ついで「住環境が良く、暮らしやすい快適なまち」が27.8%、「障害者や子ども、高齢者を大切にするまち」が26.7%の順で続いています。

平成18年度に実施した市民意向調査と比較してみると、「文化や教育が充実し、生きがいをもって暮らせるまち」、「障害者や子ども、高齢者を大切にするまち」の割合が高くなっています。

図 将来のまちのイメージ



## (6) 自由意見

アンケートでは、小牧市の発展や協働によるまちづくりを進めるための意見や提案、アイデアを自由に書いていただきました。全体の60%にあたる54団体から意見をいただきました。

自由意見	主な活動分野
現時点でも小牧は市民活動の分野で進んだ市だと思います。	文化スポーツ
市民で実行できる事は市民で実行。 こまき市民活動ネットワークの活用	安全安心
市の必要とする情報を積極的に市民団体に流して協力してよいまちづくりをするルール作りが必要である。	環境保全
協働“ルールブック”づくりのスピードアップ。	国際交流
ボランティア活動をしている団体と市が、地域づくり町づくりに自由なそして密な意見交換の出来る場(ルール)を作って、そこから地域力を育てて行くべきと思います。	安全安心
協働は市と市民があくまで平等によることが大切。どうしても上下関係は生じるが、市側はあくまでこの関係を平等にすべく努力をすべきである。	社会教育
まちづくりの課題は、複雑に絡み合っているように感じています。市民活動団体、行政の各部署をつなげるコーディネータの必要性を感じるとともに、「協働」を推進するための行政の担当部署を設置するとともに、権限委譲が重要ではないか?と思います。	環境保全
市民や市民活動団体が出来る業務は市民に委託するなど検討してほしい。市民まつり10/21開催もマンネリ化して来ています。市民参加の市民の手による「市民まつり」こそ小牧の活性化につながると考えています。市街地の活性化もNPOを巻き込むなど、市民の知恵を引き出してほしい。	地域活動
市民意識の啓蒙。	保健福祉
団塊の世代を活用する。	災害活動
高齢者が増えてきますが、まだまだ元気で活動できる方の力や知識を大いに活用すべきだと思います。地域力をつけ、地域の方々が仲良く、高齢者も子ども達も皆で見守っていけるようにしたいと思います。	地域活動
小牧の町は何か違うよ、小牧の人は何か違うよというものを探す。難しく思いますが、長野県人の歌の様に、小牧の人全員が見てもよいから歌える(市民憲章唱和みたいに)小さなカード(名刺サイズ、表は小牧の地図、裏は歌誌とか)をいつも持っているとか。	児童健全育成
市庁舎内に、市民のいろいろな話に対応するボランティアのたまり場所を作ったらどうか。(気軽に相談できる相手、場所)	文化スポーツ
市の指導で、推進事業で色々な団体が出来ますが、その用具を入れておくロッカーがほしいです。金目のものは、勿論役員が持って帰りますが、その他の書類等次の開催日まで保管するロッカーがあると、有難いです。全部持ち帰らなくてもいいように是非設置して下さい。(コピー用紙その他)	社会教育
地域において障害者をはじめ、妊婦、子供、高齢者と誰でもが集える場があればと思う。	保健福祉

自由意見	主な活動分野
子育ての母親や高齢者が身近な所でほっとできる居場所づくりをする。(チョットした事、困った事など話し合い、相談できる窓口、場所をつくる)。	地域活動
市中心部に市民の集いができる場所を作ると良いと思います。小牧駅周辺に図書館、今東部にあるエコセンターなどがあると、高齢者の方も集る場所があって良いと思います。	保健福祉
母校で学んで最終は母校へ帰る。小学校は市民が歩いて行ける範囲なので、誰もが学校へ行ってくるネと気軽に通える場にしていきたい。	その他
市の施設を使用する場合の駐車場の問題(特にまなび創造館の使用)。	その他
文化、福祉関連の各施設が近年充実してきたが、それらは当事者の都合でバラバラに設置されているようです。お互いの施設に関連性をもたせ(子育て支援センターや高齢者のふれあいサロン、高齢者のデイサービス施設など)共有できるコミュニティを「核」とした街づくりを希望します。ボランティア活動ができる人達も高齢化してきました。もっと現役の方達(学生も含む)の若い力が活かせるような働き欠けがほしい。	保健福祉
まちづくり(地域づくり)の相当部分に関与する地域リーダー(区長・地縁組織のリーダーなど)への啓蒙・指導・助言は重要。地域リーダーの理解・協力がなくして市民協働は進まないと思います。まちづくりに貢献する市民活動団体をいかに育てるかをもちと戦略的に考える段階ではないでしょうか。(点から面に展開できて力になると思う)	環境保全
<p>「安全安心なまちづくり」の目標(総論)は今や各論の実行計画が問われてきた。その一例を下記に挙げます。</p> <p>全市 125 区における最重要課題 3 点とその打開策はなにか。(市議員と区長が自らの案を提示すべき。)</p> <p>費用対策効果の徹底検証(例:夏祭り、市民まつり 1 億円の費用対策効果はどれだけか。P.D.C.A の「評価」に力点をおいてマネジメントすべき。)</p>	社会教育
民生委員の事で意見を少しさせて頂きます。今後 1 人暮らしが多くなり孤独死が増えると思われれます。本人の要請が無いと訪問出来ない規則があるとかで、年も 75 歳以上と聞きました。病気で倒れた男性が 1 人残され、私は見るにしのびずお願いしたのですが。年は 65 歳以上で生活に困っていない 1 人暮らしの男の方、しかもいろんな病気を持っている場合は一言声をかけるくらいはよいのではないかと思います。世間では民生委員にかかる事イコール生活保護にかかるという偏見が未だに残っています。私は民生委員も同様ボランティアだと思います。特別職でも名誉職でもないと思います。市はもう少し皆に分かるよう PR すべきだと思います。(緊急電話の取り付け等)安心生活の確立。	保健福祉
公園内でのボール投げが小さい子供達に危ないという理由で禁じられています。そこで、各地域にある貯水池を年に 1 つずつでもよいので全天候型にして空間が使えるようにしたらどうでしょうか。(久保公園のように)人工芝を貼れば手もかからず、野球等が出来るようになると思います。ピーチライナーの再利用として、発電用パネルを取り付ければ壊す費用と電気エネルギーの利用とで、±0 とまではいなくても、半永久的に利用できるのではないかと。ゴミ出しの日に空き缶を持っていく人がいます(業者ではなく)。そうい	地域活動

自由意見	主な活動分野
う人を上手に活用して、空き缶ドロではなく仕事として生かせるようには出来ないでしょうか。	
私達のグループはふれあいセンター中心の介護補助ボランティアグループです。小さな事でも老人、身障の方のお手伝いをと思って活動しています。その視点から見ると、歩道の整備（幅とか、自転車と分けるとか、自転車は車道を走るものですが、車道に出ると自動車にひっかけられそうで、こわくて走れないので歩道を走ってしまいます）が気になります。	保健福祉
災害時の下水道利用（下水道に直結した簡易トイレ）について、以前にも小牧市御意見ファックスに投稿しました。出来れば（障害者用）洋式も可能なのではないかと。京都府では利用（準備）されているようです。	保健福祉
防犯について不安を持っている人の多いのには驚く。小牧市市内の要所には出来るだけ防犯カメラを設置できないでしょうか。盗難、犯罪の多いのも小牧市です。小牧市では盗み、犯罪をおこす事は難しいといわれる小牧市にしたいものです。	その他
体が不自由で出かける事の出来ない方達の為、もっと福祉タクシー・バスなど走らせてほしい。	保健福祉
各施設（市役所、まなび、市民会館、勤労センター等）への巡回バスがほしい。車でないと行けないこと多く、老人になると困る。アクセスが悪い。四季の森への駅からの直通バスを出してほしい。市民病院へのアクセスも悪い。農業祭、健康まつり等は市民会館で行ってほしい。（アリーナは広すぎていろんな事で混雑しすぎる。駐車場が離れすぎている。）市民会館、公民館の利用をもっと増やすべき。	保健福祉
とにかく町の中心にもっと文化程度の高い施設等を作って、市民が小牧の町に行きたいという気持ちになるようにすることが大切だと思う。循環バスを小牧ひとつだけで運営しないで、いくつかの広い範囲で運行し、小牧だけに人を集めようとする姿勢を改める。地域の子供会、3あい事業の真の発展を考える。市との協働、学校との協働、地域との協働、自然との協働。	文化スポーツ
高齢者が多く、行動力の不足者が多い集団です。	文化スポーツ
旧ピーチライナーの活用。主要施設を通っていないため赤字となったと思います。	文化スポーツ
ピーチライナーの活用 駅舎の開放	文化スポーツ
末端地域まで行政が行き届くようにしてほしいです。例えば巡回バスの増。駅周囲の活性化とともにゆとりのある明るい町づくり。	安全安心
市民の声をよく聞く事がまず一番だと考えます。開発は壊す事よりも今あるものを活かして、有効利用する事を徹底して下さい。駅前の駒止公園をこわすとか、駐車場を立体にする様な計画があると聞いていますが、どうなのでしょう。	児童健全育成
若者による市民ボランティアとのパートナーシップによって「成人式運営」「成人のつどい」等の実施。 地域に根ざした食育活動（コンクール等）実践及び表彰発表。	社会教育

自由意見	主な活動分野
<p>休耕田活用による農業体験活動の実施及びグループ活動の応援。 外国人と協働によるまちづくりと協働によるボランティア活動の推進。</p>	
<p>人がいきいきと活性化しないと地域や市が活気付かない。最近増加している高齢者をグループ化し、組織化を積極的に進めてはどうか。老人会に入れてもらえない（旧住民だけ、人数が多いと行事が多いなど）、自治会も旧住民主体で、移住者は“よそ者”扱いにされている。弊害を取り除くために地域を越えてグループ化、組織化する。災害時にも役立つと考える総括的にやるのでなく、小牧の特徴を生かすことに徹底すべきである。（小牧山、小牧長久手戦など）</p>	社会教育
<p>小牧市には地元の方よりの寄付された昔からのものがたくさんあると聞きしています。陽の目をあてて下さい。</p>	文化スポーツ
<p>小牧市は財政豊かな町と聞く。市民まつり、平成夏まつり又小牧市民教養講座等に財力を充て、独自性を引き出すことにより、内容の充実が求められると思う。近年市民まつりの協力金も減少され、出演に躊躇し、趣向を凝らしたアイデアを考えることが懸念される。我々の団体は高齢化の中で伝統芸能を伝え、市民に広く理解を求め、小牧市の文化・芸術に一役を担えれば幸いと思う。</p>	文化スポーツ
<p>財政面では全国的にも成功していると思いますが、文化・芸術面で、名古屋市、春日井市等より遅れていると思います。せっかく芸術大学もありますから、小牧の方にも目を向けるようにしていただいたら良いと思います。</p>	文化スポーツ
<p>園芸にかかる趣味、個人の嗜好を同じくする者の集まりであるので、直接的な町づくりには関わりがない。しかし園芸は日本の文化であり、その向上と発展は町のうらおいとなる。</p>	文化スポーツ
<p>古代魚「天魚」の生息調査 小牧山、陸のホタル「ヒメボタル」育成について ヒトの祖先ナメクジウオの化石調査「コノドント」市内大山周辺 信長公及び伊勢神宮ゆかりの「白王星草」の復活について 古代人ゆかりの神字（カムナ）遺跡の保存と調査について 萬古皇孫女王卑弥呼伝承墳墓</p>	環境保全
<p>小牧市が真に環境都市宣言の実践・展開を目指している事を示すためにも、まず外面を整える必要があると思う。例えば、公共施設から自販機を撤去する。小牧城のライトアップの時間を短縮する。ライトアップなし日を決定する。</p>	環境保全
<p>イトーヨーカドーのビルが上にのばせるなら、有料老人ホームを経営したらどうか、町の真ん中に高齢者住宅があってもいいと思います。家賃も入るし、私なら住みたい気がします。</p>	児童健全育成
<p>総合計画策定などいうと、短期的・短年的な尺度で形をまとめる傾向が多いが、小牧市のまちづくりは長い歴史の中で、他市町村や住人のうまずたゆまぬ関わりの中で出来てくるものであると思うので、余り急いで目先の利便追求や短期成果重視で答えを出そうとしないで、長いスパンや世の中の進化をも含めて、長期的に取り返しのつかない失敗を残さないことが望ましい。</p>	保健福祉

自由意見	主な活動分野
<p>政治経済の変化や国際環境の変化や技術革新など、環境は急速に変化する ので、その適正な対応は中々難しいことであるが、「まちづくり」を考 える場合にも、長期のビジョンを持って考えたい。</p>	<p>災害活動</p>
<p>パソコンでよく意見を受けつけているなど言われますが、年配の方々には 無理である。いろんな人の意見を聞くと、うまくまとめられないというこ とがあるかもしれませんが、ぜひ、広報をもっと活用するとか、「みんな が手に取ることができる」方法を考えて下さい。</p> <p>市職員の方々の専門性を高めるために、パート職員をやめ、正職にし、職 員の意識向上のための研修（専門性が高まるようにそれぞれの内容で）の 充実。つねに学ぶ姿勢を持ち続けられる謙虚な気持ちを職員には求めます。 町の中をすぐにかえることはお金をかけたらなんとかなるでしょう。でも 今あるなかで生きていきやすくする方法は人の意識を変えることです。</p>	<p>保健福祉</p>
<p>役所の頭は固い。もっと民間会社のアイデアとか、民間からの人材を活用 すべきと考える。</p>	<p>地域活動</p>
<p>様々な事業、これを決めていく会議、これらの根本的なチェックを客観的 に実施すること。</p> <p>小牧市がかかえる問題～市の特別性のある課題に対して専門の窓口を設け る。～外国人との共生、公共交通の整備充実、自然環境の保全、歴史・文 化の充実、企業立地のフォローなど。</p> <p>市内の地区ごとの課題やテーマに決め細やかに対処するには、市内の地区 の自立性、主体性を育む体制を散策し、裏付けしてある。自立的に決めら れる予算配分をする事。</p>	<p>環境保全</p>
<p>障害者からの希望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害者に対し呼出し、連絡案内が不十分、電光掲示板等の対応を。</li> <li>・下肢障害者からは施設、新店舗等の出入口が狭い、スロープが無い、椅 子の固定化で気軽に利用できる所が少ない。新設される店舗等に対して、 障害者に対してのバリアフリー化の拡大をお願いします。介助する側にと っても同様に考慮をお願いします。</li> </ul> <p>市長へのお願い</p> <p>小牧市の福祉に対する取組みは他市に負けないと思いますが、健常者の目 と障害者の目は全く違う所にあります。例えば、市長自ら1日市役所内を 車椅子で障害者と健常者の見る目の違いを体験して貰いたいと思います。 そうする事により、障害者が何を要望しているか、理解できると思います。 是非協力お願い致します。</p>	<p>その他</p>

### 3 参考資料

#### ① 調査票

新しい総合計画策定のための

## 団体アンケート調査

### 調査のお願い

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

小牧市では、第5次総合計画にもとづき「人と緑 かがやく創造のまち」をめざしてまちづくりを進めていますが、本年度より2年間をかけて新しい総合計画を策定することとしました。

総合計画は、本市の最上位の計画であり、まちづくりの指針となるもので、本市がめざすまちづくりの方向や、それを実現するための施策などを定める重要なものです。

計画策定にあたっては、「市民の参画と行政との協働による市民が主役の計画づくり」を方針の一つに掲げています。

この調査は、さまざまな活動に取り組まれている皆さまが日頃から感じておられることをお聞きし、計画策定に役立てるために行うもので、集計結果は統計的に処理し公表させていただく予定ですが、個別の団体名を公表することはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

平成19年6月

小牧市長 中野 直輝

### ご記入にあたってのお願い

- この調査では、NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体等を総称して「各種団体」と表現しています。
- 団体の代表者の方がお答えください。(代表者の方がお答えできない場合は、代理の方がお答えください。)
- ご回答は設問ごとの指示に従い、番号に 印をつけてください。設問によって 印をつける数が異なりますので、ご注意ください。
- この調査票は、7月15日(日)までにご記入のうえ、同封しました返信用の封筒に入れ、ご投函ください。切手は不要です。
- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<連絡先>

小牧市 企画部 企画課 企画政策係 担当：舟橋、古田

TEL：76 - 1105 e-mail：Kikakuka@city.komaki.lg.jp

# 1 貴団体の概要について

**設問 1** 貴団体を設立してから何年になりますか？ <1つに 印>

1. 5年未満      2. 5～9年      3. 10～19年      4. 20年以上

**設問 2** 構成員(会員数)は何人くらいですか？ さしつかえなければ、男女別会員数と、60歳以上の会員数もお答えください。 <数字を記入>

構成員	男	女	60歳以上
人	人	人	人
(世帯)			

**設問 3** 主にどのような活動をしていますか？

<最も主な活動1つに 印、その他の主な活動にいくつでも 印>

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 保健、医療、福祉に関する活動      | 2. 社会教育に関する活動          |
| 3. 文化、芸術、スポーツに関する活動    | 4. 環境の保全に関する活動         |
| 5. 災害時の救援活動            | 6. 安全・安心な地域の実現に関する活動   |
| 7. 国際交流や国際協力に関する活動     | 8. 男女共同参画社会をつくるための活動   |
| 9. 子どもの健全育成に関する活動      | 10. 情報化社会の発展を図る活動      |
| 11. スローライフなど暮らしを見直す活動  | 12. 産業振興やまちのにぎわいづくりの活動 |
| 13. ボランティアやNPO等を支援する活動 | 14. 自治会など地域のまちづくり活動    |
| 15. その他(具体的に           | )                      |

**設問 4** 貴団体の活動は、どのくらいの頻度で行っていますか？ <1つに 印>

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日   | 2. 週2～3回  |
| 3. 週に1回   | 4. 月に1～2回 |
| 5. 2ヶ月に1回 | 6. 不定期    |

**設問5** 主にどのような地区で活動していますか？ <1つに 印>

市内の特定地区で活動している場合は、その地区（小学校区）もお答えください。

1. 市内の特定地区

2. 市内全域

3. 市内及び市外

「1」と回答した方は主な活動地区をお答えください。 <あてはまるものすべてに 印>

1. 小牧小学校区

2. 村中小学校区

3. 小牧南小学校区

4. 三ツ淵小学校区

5. 味噌小学校区

6. 篠岡小学校区

7. 北里小学校区

8. 米野小学校区

9. 一色小学校区

10. 小木小学校区

11. 小牧原小学校区

12. 本庄小学校区

13. 桃ヶ丘小学校区

14. 陶小学校区

15. 光ヶ丘小学校区

16. 大城小学校区

## 2 活動についての課題

**設問6** 現在、貴団体が抱えている課題は何ですか？ <あてはまるものすべてに 印>

1. 会員数が増えない、減っている
2. 若い人の参加が少なく、役員等の高齢化が進んでいる
3. 活動がマンネリ化または停滞している
4. 活動を提供する場・機会が不足している
5. 正確な住民ニーズを把握できない
6. 活動に対する住民の関心が低い
7. 活動に必要な資金が不足している
8. 事務所など活動の拠点が確保できない
9. 他の団体との交流や情報交換の機会がない
10. 活動に必要な知識などを習得する機会がない
11. 市との連携が弱い、またはつながりがない
12. 今のところ課題や悩みはない
13. その他（具体的に

)

### 3 協働のまちづくりについて

**設問7** 全体的にみて、市民や各種団体の意見が小牧市のまちづくりに反映されていると思いますか？ <1つに 印>

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1. 反映されている     | 2. まあ反映されている |
| 3. あまり反映されていない | 4. 反映されていない  |

**設問8** 近年、行政と多様な担い手の協働による、地域づくりやまちづくりの取り組みが活発化してきています。貴団体では、こうした市民や行政、団体等の協働によるまちづくりにおいて、すでに市との関わりがありますか？ <1つに 印>

- |       |   |                       |
|-------|---|-----------------------|
| 1. ある | → | 関わりのある分野・内容を記入してください。 |
| 2. ない |   |                       |

協働：市民・行政・NPOなど様々な主体が主体的、自発的に共通の活動領域において、相互の立場や特性を認識・尊重しながら共通の目的を達成するために協力すること。小牧市では、平成17年4月に「小牧市市民活動推進条例」を施行し、市民活動を推進しています。

**設問9** 貴団体では、今後、協働によるまちづくりについて、どのようにお考えですか？ <1つに 印>

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 積極的に協働によるまちづくりに取り組みたい |
| 2. 要請があるならば取り組みたい        |
| 3. 興味がある内容ならば取り組みたい      |
| 4. 協働の必要性を感じていない         |
| 5. その他 ( )               |

「1」～「3」と回答した方は、今後、貴団体が行政との協働により取り組みたいと考えていることや、興味のある分野・内容がある場合は、以下に記入してください。

**設問 10** 今後、市民団体と市が協働によるまちづくりを進めるために、市に期待することは何ですか？ <2つまでに 印>

1. 市民と市との間での情報の共有化（情報提供、意見交換機会の充実など）
2. 政策立案に市民団体等が関与できる機会を増やす（会議や計画への参画機会の充実など）
3. 地域活動や市民団体活動に対する支援（ボランティアの充実、PR支援、資金調達支援など）
4. 市民と市が協働するためのルールをつくり、協働のまちづくり事業を実施する
5. 市職員の意識改革やコーディネート力の向上（人材交流、職員研修など）
6. その他（ ）

協働によるまちづくりを進めるための具体的な意見・提案がございましたら、以下に記入してください。

（具体的な提案）

## 4 貴団体から見た小牧市の強み・弱みについて

**設問 11** 各種活動に取り組まれている関係団体の皆さまの視点からみて、小牧市の強み(良い点、活かすべき点)は何だと思えますか? <簡条書きでご記入ください>

.....

.....

.....

**設問 12** 各種活動に取り組まれている関係団体の皆さまの視点からみて、小牧市の弱み(悪い点、改善が必要な点)は何だと思えますか? <簡条書きでご記入ください>

.....

.....

.....

## 5 将来のまちのイメージについて

**設問 13** これからの小牧市はどのようなまちになると良いと思えますか?

< 2つまでに 印 >

1. 住環境が良く、暮らしやすい快適なまち
2. 緑豊かで、自然との調和がとれたまち
3. ごみや公害のない清潔なまち
4. スポーツが盛んで、健康なまち
5. 安全で、安心して暮らせるまち
6. 文化や教育が充実し、生きがいをもって暮らせるまち
7. 障害者や子ども、高齢者を大切にするまち
8. 中心市街地に魅力のある施設があり、人が集いにぎわいのあふれるまち
9. 地域で技術や経験、人材を活かせるまち
10. 産業が盛んで、活気あふれるまち
11. 未来を築く子どもが健やかに育つまち
12. その他(具体的に )



第6次小牧市総合計画策定のための団体アンケート結果  
- 報告書 -

発行	小牧市企画部企画課 〒485-8650 愛知県小牧市堀の内一丁目1番地 TEL 0568-76-1105 FAX 0568-75-5714
発行日	平成19年8月